

「金融商品取引業基礎試験」の概要

2021年4月9日

外務員等資格試験制度に関するワーキング・グループ



第一種金商業の多元化

- 2019年の金商法改正により、昨年5月からセキュリティー・トークン・オファリング(STO)の仲介行為や暗号資産のデリバティブ取引を取扱う業務が「第一種金融商品取引業」として位置付け。また、2020年の金販法改正では、第一種金融商品取引業に相当する「有価証券等仲介業務」を行う金融サービス仲介業者を創設。

外製化とFintech活用

- 金融商品取引業者において外製化やFintechの活用が進み、Webコンテンツ制作会社やロボアドバイザー・プログラム制作会社の社員など、金融商品取引業に間接的に携わる当事者(=外務員登録を必要としない)の裾野が拡大。これらの者が金融商品取引業について一定水準の知識を持つことは、今後の金商業の健全な発展に有益。

一般向け試験の受験機会提供

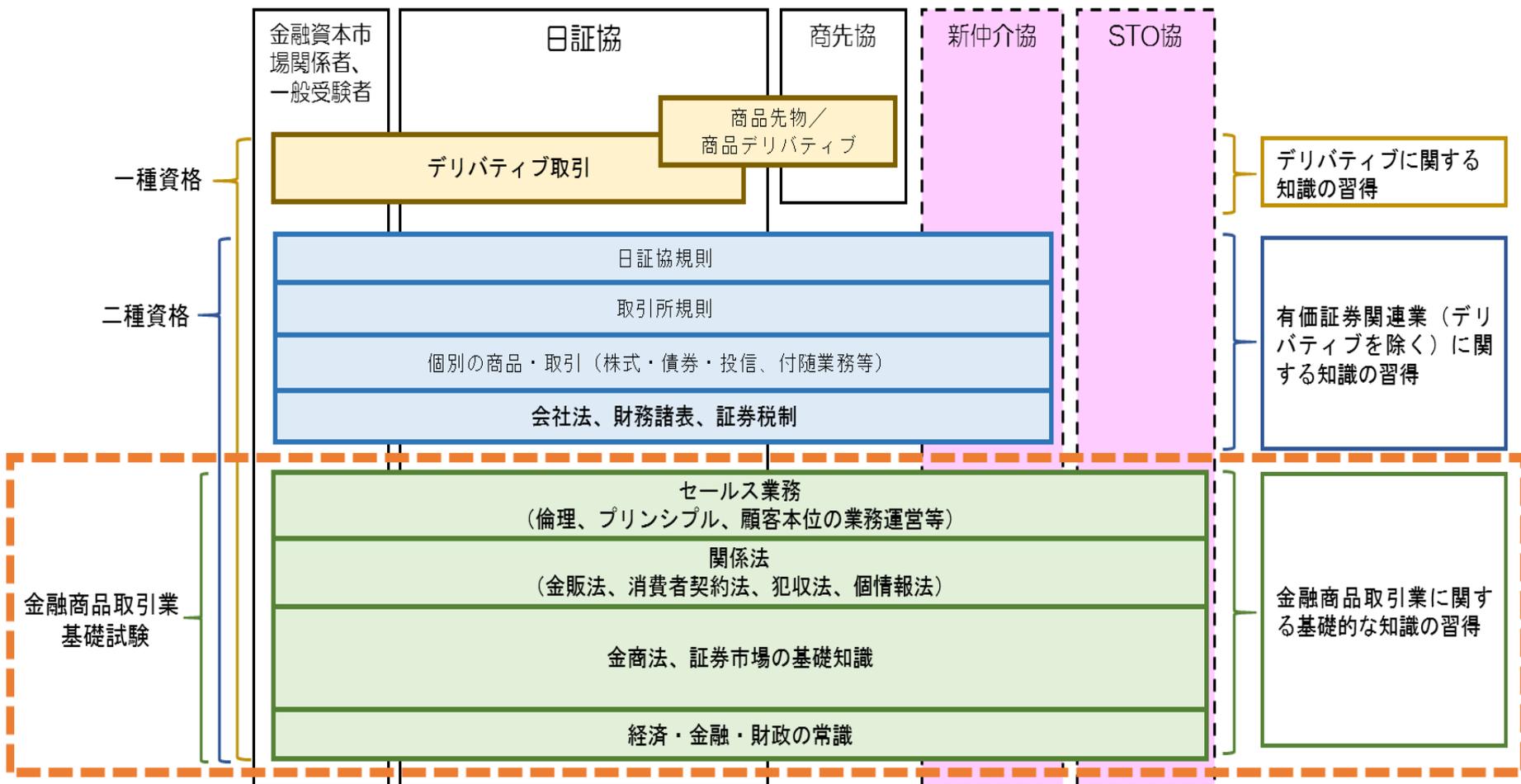
- 現在実施している一種・二種外務員資格試験の一般受験とは別に、より基礎的な知識を問う試験を新設し、今すぐ外務員の職務に携わる訳ではない人々にも、証券市場・業界や投資等に関する知識を習得するインセンティブを提供。

2. 検討経緯

2020年 7月	令和2年度「当面の主要課題」(令和2年7月策定)において、 第一種金融商品取引業の多元化を踏まえ、共通の水準で基礎的知識を習得するための一般試験の新設に向けた検討を表明
8月3日(月)	外務員等資格試験委員会に、 基礎試験の導入に向けた検討実施を報告 (注)本委員会は付属機関として資格試験の執行を委任されており、試験制度に係る審議は行わない。
	<ul style="list-style-type: none">▪ 金融庁等に基礎試験の概略説明▪ 試験の基本設計(試験時間、問題数、受験料等)▪ 基礎試験を見据えた外務員必携の章立ての見直し実施▪ 試験委託会社に基礎試験の仕様説明、既存の試験インフラによる実施可否の確認 等
2021年 1月15日(金)	外務員等資格試験制度に関するワーキング・グループに、 基礎試験の検討状況を報告

3. 出題分野

現行の一種外務員資格試験の試験範囲のうち、金融商品取引業に関する基礎的な分野を出題対象とする



4. 基礎試験の概要①

開始時期	2021年7月1日(木)申込開始→受験日は原則として申込の5営業日後
受験資格	年齢などの制限はなく、どなたでも受験することが可能
受験手続	受験者がプロメトリック社※へ直接申し込む(既存の一般開放試験と同様) <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"><p>※プロメトリック社 試験配信等のプロバイダーである米国の日本法人。 日本においても各種資格試験の配信や実施を委託されており、本協会も外務員等資格試験の運営を委託している。</p></div>
試験方法	プロメトリック社の試験会場におけるCBT(コンピュータによる試験)
試験結果(合否)通知	試験終了後、「金融商品取引業基礎試験受験結果通知」を交付 後日、合格証を発行
受験料	5,500円(消費税込)
不正の手段による受験等	<ul style="list-style-type: none">不正受験を行った者について、本協会はその試験を停止又は不合格として取り扱うことができる。不合格となった方(不正受験による不合格を含む。)の再受験について、特段の制約は設けない。

4. 基礎試験の概要②

出題科目	<ul style="list-style-type: none">証券市場の基礎知識金融商品取引法及び関係法令金融商品の勧誘・販売に関する法律経済・金融・財政の常識セールス業務 <p>(注1)「外務員必携」第1巻の内容と同じ。 (注2)これら以外に、金融商品取引業に密接に関連する、金融商品や取引、経済や金融に関する基礎的な知識について問題を出題することがある。</p>
出題範囲	<ol style="list-style-type: none">上記出題科目についての実務的、専門的知識コンプライアンスに関する基本的かつ重要な事項 <p>(注)関係法令・諸規則等に制度変更があった場合には、当該新制度に基づいて出題。</p>
出題言語	日本語
出題形式	○×方式及び五肢選択方式 解答の方法はPCへの入力方式
問題数	合計50問
試験時間	70分
合否判定基準	140点満点の7割(98点)以上得点

4. 基礎試験の概要③

外務員資格試験 との違い

- 基礎試験は、特定の資格を付与するものではない。
- 金融商品取引業者等において外務員の職務に従事するためには、基礎試験の受験・合格の如何を問わず、外務員資格試験に合格し、外務員登録原簿に登録を受ける必要がある。
- 基礎試験の合格者について、資格更新研修は行わない。

想定する受験者・ 活用方法

- 第一種金商業への間接的関与者（Webコンテンツ、ロボアドバイザーのプログラム等、各種コンテンツ制作者）
- 本協会以外の金商業協会における資格認定
- 金融業界への就職を志望する学生
- 大学の金融関係の授業・ゼミの学生（単位認定、理解度測定）
- その他、金融商品取引業に関する知識を身に付けたい一般の方

5. 今後の予定

2021年 4月 9日(金)	外務員等資格試験制度に関するワーキング・グループ 報告
4月15日(木)	自主規制企画分科会 報告
4月20日(火)	自主規制会議 報告
4月21日(水)	記者会見報告、試験概要公表
4月～6月	本協会ウェブサイト改修、周知活動
7月1日(木)	試験申込の受付開始
7月8日(木)	試験の実施開始

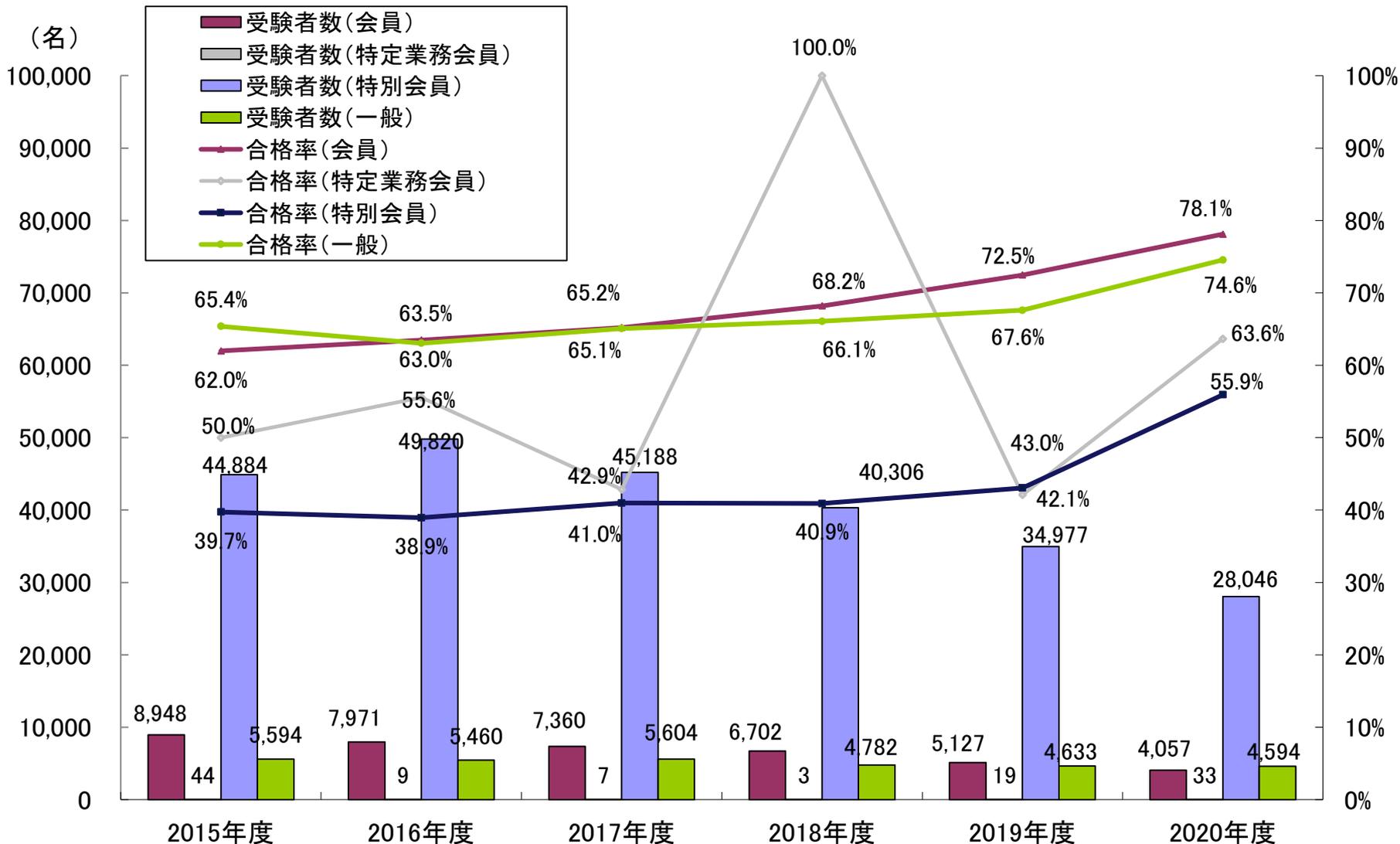
参考1：一種・二種外務員資格試験との比較

試験種別	試験時間 (分)	出題数	出題形式	合格基準	受験料 (税込)
金融商品取引業基礎試験	70	50	○×形式 及び 五肢選択形式	7割 98/140点	5,500
一種外務員資格試験	160	100	○×形式 及び 五肢選択形式	7割 308/440点	10,323
二種外務員資格試験	120	70		7割 210/300点	10,323

(注1) 受験料は一般開放の受験料(2021年4月1日以降受験分)。

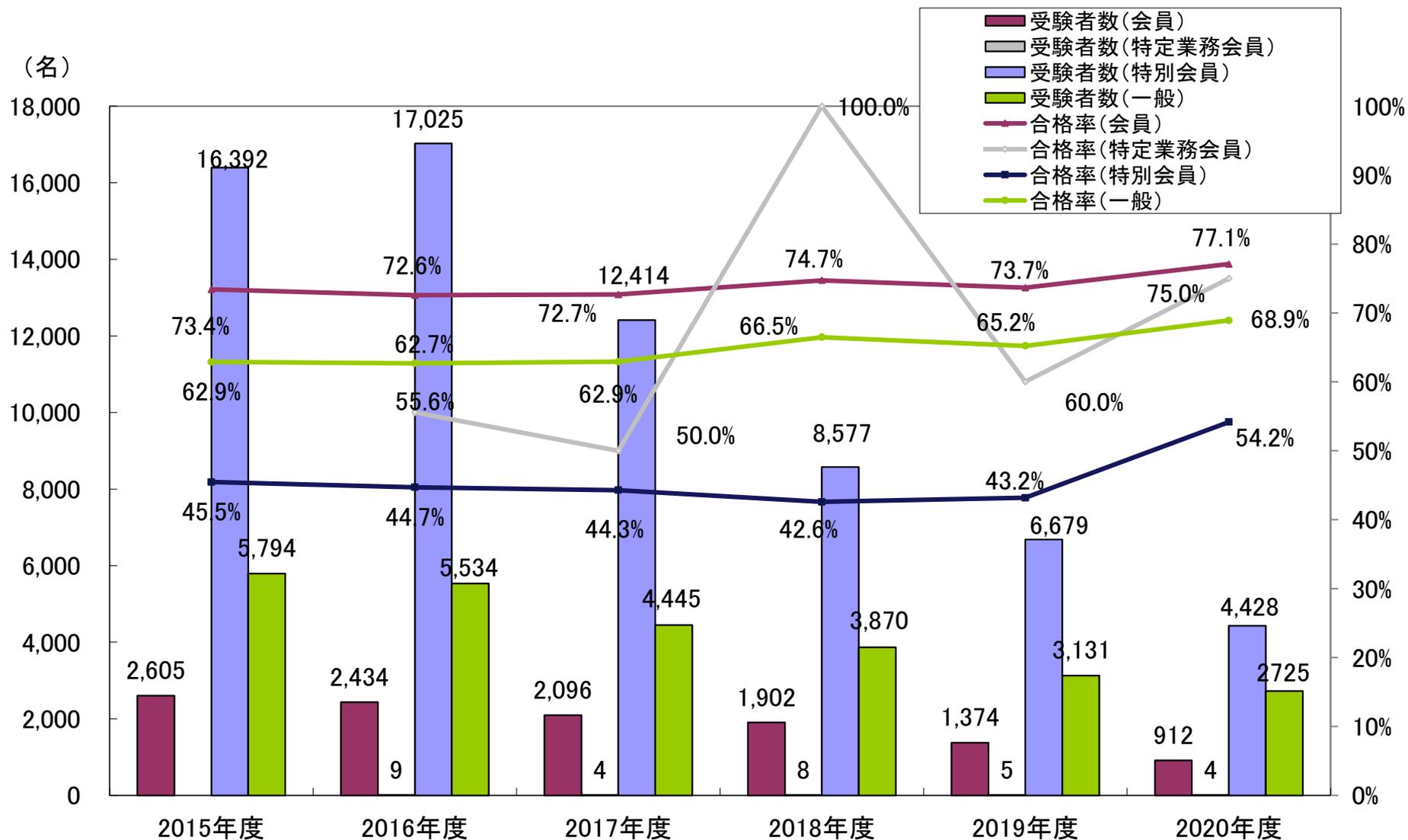
(注2) 試験は、原則として毎営業日に実施している。

参考2: 資格試験の実施状況 (1) 一種外務員資格試験



※金融商品仲介業者の役職員を含む(以下同じ)。

(2) 二種外務員資格試験



※2015年度の特定業務会員の受験はなし。